

基本理念（案）について

【現行（第6期）】

いつまでもいきいきと安心して暮らせるまち 西東京市
—みんなでつくる豊かな高齢社会—

【第7期 案】

案1 いつまでもいきいきと安心して暮らせるまち 西東京市
～みんなで支え合うまちづくり～
（意味）人生の最期まで、身体的にあるいは精神的に、自分らしくいきいきと安心して暮らせるまちを、みんなで互いに支え合いながらつくる。

案2 地域の中で安心して暮らせるまち 西東京市
～みんなで支え合うまちづくり～
（意味）住み慣れた地域の中で、みんなで互いに支え合いながら、安心して暮らせるまちをつくる。

【第7期基本理念の説明文（案）】

西東京市は今後、高齢者の人口が増加することが推計されており、平成37年（2025年）には65歳以上の人口が51,129人、市の人口全体の25.9パーセントと、4人に1人が65歳以上となり、75歳以上の高齢者人口も平成37年（2025年）には29,708人と増加することが見込まれています。

高齢者人口の増加や一人暮らし高齢者の増加、要介護度の重度化が進む中、住み慣れた地域で暮らし続けられる安心・安全なまちづくりがより重要になっています。

西東京市では当初より地域でのケアシステムの構築を取り上げ、本計画の第5期からは、必要な医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが切れ目なく有機的かつ一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、取り組んできました。

西東京市は、「西東京市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「『健康』応援都市の実現」を基軸として掲げています。

ここでいう「健康」応援都市とは、保健医療の分野だけではなく、社会経済・居住環境など様々な分野においても、市民の健康、まち全体の健康を推

進するものです。

今後、「『健康』 応援都市の実現」に向け、「地域包括ケアシステム」をさらに深化させ、高齢者のみならず、障害者や子どもなども含め、包括的支援体制を構築し、「地域共生社会」の実現を目指します。

このためには土台としての「地域力の強化」が重要です。地域住民、NPO、民間事業者、行政などの多様な主体が連携し、一人ひとりが自分らしく安心して暮らし、生きがいのもてる地域をともにつくっていく必要があります。

また、この中で、高齢者自身も地域づくりの一員となることで、互いに支え合うことのできる地域となり、さらには、高齢者の介護予防、健康づくりにもつながり、高齢者が主体となって活躍できるまちとなります。

本計画は、第6期までの基本理念を踏まえ、「地域共生社会」の実現に向けて、さらに地域全体で支え合うまち、みんなが自分らしく安心して暮らせるまちをつくっていくことを目指し、「
」を基本理念として定めます。